

# 地域とともに豊かな学びを創造し 地域の絆を深める学校づくり



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働活動
新座市立 野火止小学校	野火止小学校学校運営協議会	地域学校協働活動推進員 0名 0名	野火止小学校 地域学校協働活動
	平成25年4月1日 指定	地域コーディネーター 2名 2名	



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

本校は、JR武蔵野線新座駅からほど近く、通勤通学に便利な駅前の学校である。学区には、駅周辺の高層マンションも含まれている。一方で、学区内には野火止用水や平林寺などの歴史的な文化遺産があり、野火止台地の雑木林と畠に囲まれている情緒豊かな地域でもある。3世代が地域に根ざして一緒に住んでいる住宅と、駅周辺のマンション街という生活環境の二極化が顕著である。保護者や地域住民は、学校の教育活動に対して非常に協力的で、各種ボランティア活動を積極的に展開している。地域で子どもを育てる土壤が備わっている地域である。

### 目標や目指す姿(学校)

全ての児童が確実に伸びる学校

### 目標や目指す姿(地域)

のびのびと安心・安全で、豊かな教育活動を支える地域



## 野火止小学校学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- |                                     |                                 |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 商工会・企業関係者  | <input type="checkbox"/> 民生児童委員 |
| <input type="checkbox"/> 学区内町内会関係者  | <input type="checkbox"/> 校長     |
| <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 |                                 |

など、計 8名で構成  
年間平均 4回程度開催

### 効果的な運営の工夫

本校では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」に示されている学校運営協議会を『コミュニティ・スクール運営協議会』と位置づけ、年に4回程度の会議を開催している。コミュニティ・スクール運営協議会の役割は、学校運営に関する「基本的な方針の承認」を行い、「学校への意見の申し出」、「教職員の任用に関する意見の申し出」をすることである。実際の協議会では、前述の役割を生かして「学校評価」や「学校支援活動」について協議することが中心となっている。学校や地域の課題を共有して、共通の目標・ビジョンを持ち、協働して活動するための熟議を重ねている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

コミュニティ・スクール運営協議会での熟議により、「学校が行うこと」「子ども達が行うこと」「保護者が行うこと」「地域住民が行うこと」が明確になる。それぞれの立場で学校の支援活動を考え、実行することが協働につながると見える。そして、コミュニティ・スクール運営協議会の場だけでなく、学校運営上の懸案事項は、隨時、委員に相談し改善を図っている。



学校運営協議会・教室訪問

### 地域学校協働活動

ボランティア活動は、安心・安全を見守る活動、環境整備を行う活動、学習の支援活動などについて協力・支援を行ってくださる保護者・地域の方々で運営されている。調整役となる学校応援団コーディネーターが学校運営協議会委員となっている。



地域安全見守り活動・花いっぱいボランティア

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

- ◆コミュニティ・スクール運営協議会での熟議により、「学校が行うこと」「子ども達が行うこと」「保護者が行うこと」「地域住民が行うこと」が明確になる。それぞれの立場で学校の支援活動を考え、実行することが協働につながる。コミュニティ・スクール運営協議会の場だけでなく、学校運営上の懸案事項は、隨時、委員に相談し改善を図っている。
- ◆学校運営協議会委員の方々が、学校支援のボランティアと個々に連携を図っており、自立的な連携協力体制が築けている。

### 【成果】

- ◆地域の方々に見守られた安心・安全な学校
- ◆学びの環境の充実
- ◆地域で実現する豊かな体験活動の機会増加
- ◆児童が認められ褒められる機会の増大
- ◆学校を中心とした地域ネットワークの構築
- ◆学校、家庭、地域がそれぞれに活性化
- ◆学校に寄せられる苦情相談の減少と学校評価結果の向上

### 【課題】

- ◆教職員の勤務負担感を軽減し、コミュニティ・スクールの有効性を実感できる仕組みづくり
- ◆地域の方々の世代交代に対応する持続可能な体制づくり
- ◆中学校区としてコミュニティ・スクールの指定を受けていることを強みとした取組の推進
- ◆特色ある教育活動について、理解・協力を得るための情報発信の工夫